



分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理に取り組んでいる。 ・壁紙、クロス等については、フォースター規格をクリアしたものを使用している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出しており、太陽光パネルの設置、社用車一部のEV車化、社内電灯のLED化を徹底している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、太陽光パネルの設置、社用車一部のEV車化、社内電灯のLED化の徹底により地球温暖化対策に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮した材料の調達、建設現場でのリサイクルの徹底等を通じて、生物多様性の保全に取り組んでいる。 ・事業所でエコバックを推奨し、環境に配慮した取り組みを行っている。						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・建築資材のロスを出さない設計を行い、効率的な資源利用に取り組んでいる。 ・建設現場において資源の有効活用を行うために再利用を推進している。 ・事業所にてペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・住宅設備には節水器具を推奨している。 ・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・事業所内設備についても節水器具を利用し、井戸水の活用を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・壁紙、クロス等については、フォースター規格をクリアしたものを使用しており、高断熱の住宅建設により環境に配慮した住宅建設を行っている。											9.4		12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・フードドライブや子ども食堂への寄付を実施することで、食品ロスの削減に取り組んでいる。	1	2					6.4							12.3	14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●															11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・新築住宅への太陽光発電、蓄電池の設置を勧め再生可能エネルギーの普及を推奨すると共に、自社でも太陽光パネルを設置している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6						9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6								11.3 11.4 11.5	12.2	13		15	
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・社用車としてエコカーを一部導入している。												9.4		11.2		13.1 13.3			
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・高断熱の住宅建設(ZEH)の普及を行い、CO2削減に取り組んでいる。 ・事業活動に伴う温室効果ガスについて2030年20%(2020年比)削減の目標を掲げ、CO2削減に取り組んでいる。								7.1 7.2 7.3 7.a				9.4		11.6 11.a	12.8	13			17.2	

